

鍼灸マッサージボランティア活動の記録

(平成23年8月5日 宮城県牡鹿郡女川町)

報告者 四谷左門町鍼灸院 中野朋儀



女川町は県東部、牡鹿半島基部に位置し、南三陸金華山国定公園の指定地域にある。風光明媚なリアス式海岸は天然の良港を形成し、女川港は近海・遠洋漁業基地としてカツオ・サンマ・イカなどの水揚げが多い。女川湾ではカキやホタテ、銀鮭などの養殖業も盛。

津波で一番被害が大きかった宮城県女川

女川町を襲った津波の高さは、14.8mとしている。ただ、同時に発表された分析成果をみていると、津波の最高到達地点は標高20m程度はあるかと思う。リアス式海岸で、奥に行くほど狭まって、波高が高まったと推測される。





住家・非住家あわせて6511棟のうち、全壊は4432棟、全体の68.1%である。7割近くの建造物が全壊してしまった。そして被害のない建造物は26.6%しかない。女川町の壊滅的な被害状況がよくわかる。



女川町総合運動場は陸上競技場、野球場、多目的運動場、テニスコート、総合体育館などが揃う。県下でも有数な規模を誇る施設である。

総合体育館には、震災時800人が避難生活をしていた。

現在、256人の方々が避難生活している。当日、仮設住宅への引っ越しがあった。9月中にグラウンドに仮設住宅の建設が全て終了する。すでに施設内に100世帯の仮設住宅ができていて入居している。



総合体育館



体育館内の男子更衣室を
治療のスペースにした。

活動日：8月7日(日)

活動時間：10:00～15:00

活動人数：1名

施術者数：15名

施術者内訳

- ・肩こり・腰痛を訴える方が11名
- ・不眠を訴える方3名、不眠、血圧が高く不整脈の方1名は、震災による精神的ストレスや仮設住宅での生活の環境変化などが原因と思われる。

避難者の方はもちろん徳島からお手伝いに来ている社会福祉協会の方々も施術を受けにこれられました。みなさん疲れているのですね・・・

女川町災害ボランティアセンター 資料より



お昼に避難者の方から
焼きそばとスイカの差
入れをいただきました。
みなさん優しいです…
涙…涙…涙…です。

女川町の特徴

《人口》 10,050人

(3,800世帯)

《高齢化率》 33.4%

《住民性》 ・たすけあいの心が強い

・住民の団結力がある

《産業》

・水産業 ・観光